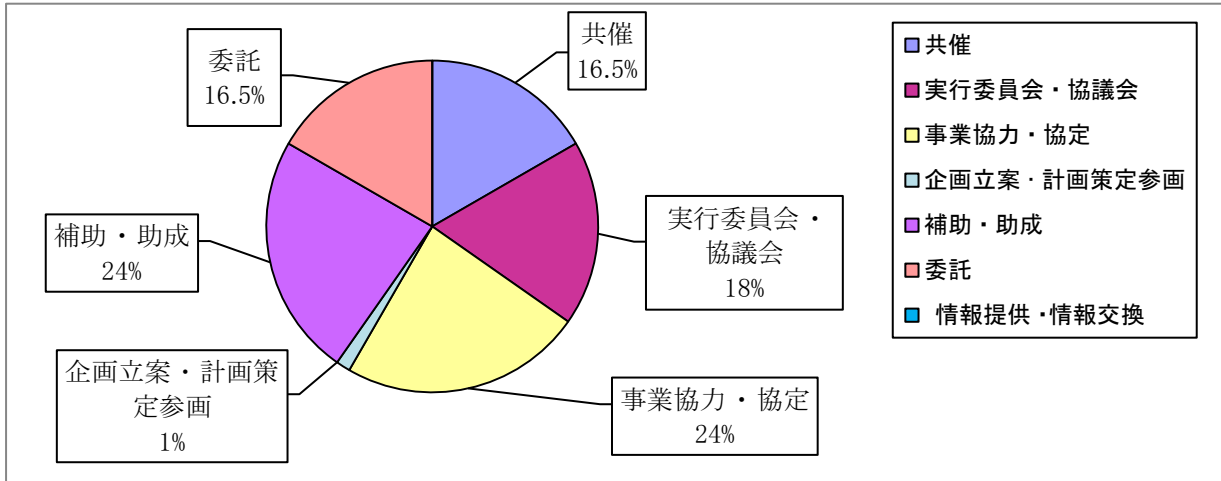


沼田市の市民協働事業（令和元年度）

1 協働事業の状況

令和元年度 協働事業の手法別の状況です。

区分	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
事業数	12	13	17	1	17	12	0	72
割合	16.5%	18.0%	24.0%	1.0%	24.0%	16.5%	0.0%	100.0%

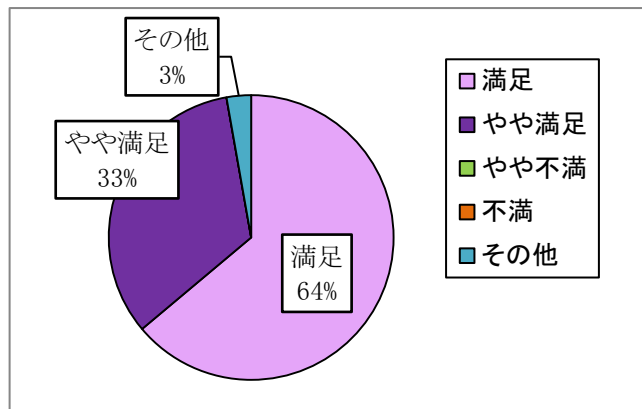


2 協働事業の評価結果

今回実施した調査では、協働という視点で事業を捉えて、各事業の評価・点検を行いました。その評価結果(満足度)については、次のとおりでした。

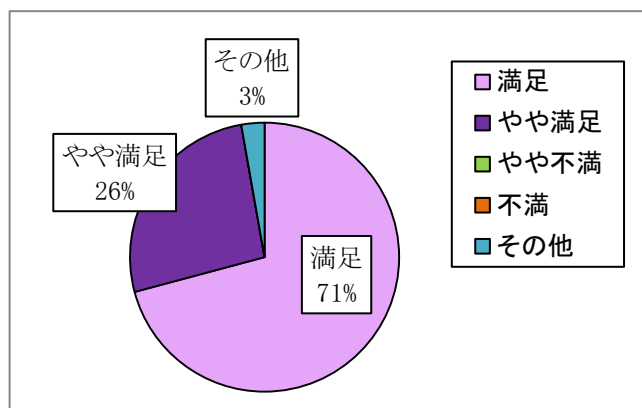
○市の担当者の満足度

区分	事業数	割合
満足	46	64%
やや満足	24	33%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
その他	2	3%
計	72	100%



○協働のパートナーの満足度

区分	事業数	割合
満足	51	71%
やや満足	19	26%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
その他	2	3%
計	72	100%



3 令和元年度(平成31年度)の事業より紹介

令和元年度(平成31年度)に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業内容
15	市民協働課 (生活課)	男女共同参画推進事業 (セミナー開催、計画の推進)	共催	北毛地域人権啓発活動 ネットワーク協議会ほか	セミナー開催により市民の意識啓発を図る。企画の段階から市民参加で検討する。
45	観光交流課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会 協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会	秋の味覚のPRと、消費者に感謝の気持ちを込めて特価販売を行う。

No.15 男女共同参画推進事業(セミナー開催等)

No.45 白沢農産物収穫感謝祭



テーマや調査方法をみんなで考えました。



開始直前、皆さん待ちきれない様子です。」



各グループが、調査した内容を報告しました。
市の職員も報告会に参加しました。



地場産の新鮮な野菜や果物がたくさん



市民が自ら調査、作成した情報紙「ハピネス」



皆さんがいっぱいお買い上げです。

4 令和元年度 沼田市協働事業一覧

担当課欄：()は令和元年度担当課

	担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
						担当課	パートナー
1	地域安全課 (防災対策課)	防火・防災事業	補助・助成	沼田市八職工防火 協会	歳末特別警戒・出初式・災害時の消 防機関への協力	当該団体が行う歳末特別警戒は、消防団が 行う歳末特別警戒とともに年末の恒例の事 業として市民に深く認識されている。今後 においても、ともに実施していきたい。	特記事項はなし
2	地域安全課 (生活課)	沼田市地区交通安 全会連合会活動事 業	補助・助成	沼田市地区交通安 全会連合会	交通安全運動の推進・普及徹底及び 交通指導	各地区交通安全会が連携し、交通安全運動 等に取り組むことにより、交通安全への啓発 や、交通事故防止に寄与している。	・各地区交通安全会が連携し、交通安全運動 等に取り組むことにより、交通安全への啓発 や、交通事故防止に寄与している。 ・各地区交通安全会との情報交換を積極的 に行い、横の連携をより強化したい。
3	地域安全課 (生活課)	タフティクラブ活動 事業	補助・助成	タフティクラブ	幼児と母親の交通安全教育や研修 の実施	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育 園や幼稚園のみならず、市外での交通安全 教室を実施する等、子どもたちの交通安全 教育に大きく貢献している。また、依頼により、 高齢者向けの交通安全教室も実施している。	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育 園や幼稚園のみならず、市外での交通安全 教室を実施する等、子どもたちの交通安全 教育に大きく貢献している。また、依頼により、 高齢者向けの交通安全教室も実施している。
4	企画政策課 (企画課)	国際交流事業	補助・助成	沼田市国際交流協 会	国際都市交流及び親善に関すること 国際交流の啓発と普及 国際交流に関する調査研究	利根沼田に在住する外国人向けの日本語教 室、交流の場としての外国人料理教室及び 国際交流フェスティバルを開催し、多文化共 生社会の実現に向けて取り組んだ。	市内に在住する外国人が市民とともに楽しく 暮らせる多文化共生社会の実現に向け、各 種事業を実施した。
5	白沢支所	白沢ふるさとまつり	実行委員会・ 協議会	白沢ふるさとまつり 実行委員会	地域に根ざした伝統的な行事であり、 白沢地域の振興を図るとともに、 住民相互のつながりや来訪者との交 流を促進する。	幅広い世代の参加者相互のつながりや多く の来場者との交流が図られており、地域振興 事業として重要な役割を果たしている。みこし 担ぎ手不足の地区も生じてきており、各地区 が参加しやすい環境づくりが今後必要と思わ れる。	白沢町内各地区の夏祭りと日を同じくして開 催する一大行事として、広く定着している。地 域の更なる振興のために極めて重要な事業 であり、今後も継続して開催していきたい。
6	白沢支所	白沢町盆踊り大会	実行委員会・ 協議会	白沢町盆踊り大会 実行委員会	伝統行事である盆踊りを継承し、親 睦と交流の場とする。	住民相互の交流や地域の振興が図られてお り、地域振興事業として重要な役割を果たし ている。今後も地域の伝統行事として継続し ていく必要があると考えられる。	白沢町における伝統行事であり、また、後継 者の育成も重要であることから、今後も継続 して開催していきたい。
7	利根支所	吹割の滝開き・無 事故安全祈願祭	事業協力・協 定	利根町観光協会	シーズンの開幕を祝い、無事故を祈 願する。	吹割の滝観光協会会員の高齢化が進み、滝 開き・無事故安全祈願祭を執行できる後継者 の確保が心配される。 (改善点など)吹割の滝観光協会関係者の事 業に対する自主性・自立性が現れてきた。	観光客の無事故安全を祈願するとともに、吹 割の滝をPRすることができた。

8	利根支所	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会 (利根町観光協会)	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により、地域の活性化と観光振興の一助とする。	各種団体の運営協力が常に確保している。事業運営に必要な人員確保についてはそれぞれの団体に責任を持っていただいているが、祭り自体を成功させるには、更なる関係団体との連携の強化が必要である。	以前から利根町地域全体の祭りとして実施していると働きかけてはいるが、地域からの参加はない。今後も利根町全体のイベントだと感じられる内容となるように改善をしていきたい。
9	利根支所	老神温泉そば祭り	事業協力・協定	老神温泉そば祭り実行委員会 (利根町観光協会)	「奥利根高原そば」を活かし、滝と温泉を結びつけた新たな観光の創出と地域の活性化を図る。	一般市民・観光客との交流が以前よりも多く図られているが、農業・商業・観光との連携とともに、イベントの運営に関わりながら、更なる老神温泉地域の活性化が図られることを目指した内容とすべき検討を今後もしていく必要がある。	ここ最近では、ポスター・チラシの原稿作成を実行委員自ら行い、開催チラシの配布についても、関係する実行委員により区分けし、経費を抑えるため、区長を通じて配布している。今後も経費の節減に努めながら、更に事業内容を検討する必要がある。
10	利根支所	老神温泉赤城神社節分祭	補助・助成	老神温泉観光協会	赤城神社での節分祭を開催し、厄払いと観光振興、集客を図る。	パートナーがポスター・チラシを自ら作成し、参加者の募集に努力しているが、まだまだ参加者が少ないので、もう少し広く周知していく必要がある。	老神温泉の行事の中でも重要なお祭りであり、地域に根ざした伝統行事として近隣住民だけでなく、観光客も参加している。観光交流や地域振興という側面からも、今後も継続が望まれる行事である。
11	利根支所	都市との交流事業	実行委員会・協議会	利根町少年野球交流事業実行委員会	少年野球及び体験事業による都市住民との交流会の開催	少年野球を中心とした交流は定着しており、一定の成果が認められるが、今後は、少年野球の人口減少により、事業内容の見直しを検討する必要がある。	交流事業については、長年継続され地域に定着した事業となっている。少子化により子ども的人数も減少しているが、受け継がれてきた事業を継続していくためには実行委員会が主体となり、創意工夫をもって事業運営に取り組んでいく必要がある。
12	市民協働課 (生活課)	市民協働によるまちづくり事業補助金	補助・助成	地域活動団体、地域コミュニティ代表者など (上原ふれあいサマーフェスティバル実行委員会)	地域の活性化や問題解決に向けた活動への助成。 事業審査は市民が行う。	令和元年度は5団体が協働によるまちづくりを推進するため、補助金を活用し事業を実施した。事業の実施報告会を講演会と同時開催したことで、97人に各団体の事業を周知することができた。今後も補助金について周知を強化することで、市内の多くの団体にまちづくり補助金を活用いただけるようにしていきたい。また、市民団体の活動を知っていただくことで、市民のまちづくり意識の啓発を図りたい。 (改善点など)昨年度と同様に4月1日からの事業実施ができるよう、3月中旬に審査会を開催している。なお、補助金申請の地域に偏りがあることから、今後はさらに周知を徹底したい。	・約400名の賑わいを創出できた。 ・多世代の交流ができ、互いの顔を知り合うことができた。また健全育成につながった。 ・実行委員会の活動を通して、新たなリーダーが育った。 ・小規模だが地域交流ができた。
13	市民協働課 (生活課)	市民活動センター管理運営事業	企画立案・参画	市民活動センター運営委員会(有識者・利用団体代表者・市職員)	市民活動センターの円滑な運営について検討する。	運営委員会が出された意見を、事業実施に反映できるように努めた。市民活動団体の視点でのご意見であり、今後も継続して運営委員会を開催し、市民活動の支援、拡充に努めたい。	運営委員会は、センターの事業について市民活動団体などの意見を聞くための大変重要な会であると思う。今後のセンターの運営についても、市民活動の活性化を図るため、事業について協議を継続していきたい。

14	市民協働課 (生活課)	男女共同参画推進 事業(セミナー開 催、計画の推進)	共催	北毛地域人権啓発 活動ネットワーク協 議会、大学准教 授、一般市民等 (北毛地域人権啓 発活動ネットワー ク協議会)	セミナー開催により、市民の意識啓 発を図る。企画の段階から市民参加 で検討する。	セミナーの連続講座では、参加者が今、沼田 に必要な情報を市民目線で考え、テーマを決 定し、調査や研究を行い、成果発表を行うこ とができた。また「男女共同参画情報紙 ハピ ネス」についても、内容や構成を市民自ら考 え作成することができた。 実践的な内容のため参加者は達成感がある が、継続した内容は参加しにくい人もいるの で、新たな参加者を増やすための工夫も検討 する必要があると考える。	基礎講座で全体テーマや講演会の内容につ いて学んだ上で、実践講座へ進むという流れ がスムーズかつ参加市民の主体性が重んじ られ、大変有意義なセミナーとなった。 また、昨年度のテーマを継続したことで内容 が更に深まり、成果発表及び、「男女共同参 画情報紙ハピネス」の内容がより具体的で市 民へのアピール性の高いものとなった。
						(改善点など) 昨年に引き続き、市民が中心と なり柔軟な企画や実施が図られた。	(改善点など) 昨年に引き続き講演会、実践 講座ともに、市民が実施主体となり、工夫をし て進めている。
15	市民協働課 (生活課)	沼田市くらしの会活 動事業	補助・助成	沼田市くらしの会	3R運動や各種講習会開催など、賢 い消費者を目指す。	・消費者講演会に参加するなど、自らも消費 者問題を学ぶほか、併せて会員以外への消 費者啓発に努めた。 ・有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの 取り組み等を行い、消費生活のみならず、広 く環境対策等にも取り組んでいる。	・各種講演会や勉強会に参加することで、多 様化する消費者問題について学んだ。また、 講習会や研修視察により、会員相互の親睦 を深めることができた。 ・有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの 取り組み等を行い、消費生活のみならず、広 く環境対策等にも取り組んだ。 ・会員の高年齢化により会員数が減少してい るため、新規入会者を募集している。
16	環境課	環境啓発事業(環 境フォーラムぬまた 等)	委託	ぬまた環境ネット	ぬまた環境ネットの運営と環境啓発 事業(環境フォーラムぬまた)の開催	子どもから大人まで楽しめる内容だったた め、多くの市民に環境問題を考える機会を提 供できた。会場確保の都合で開催日程が変 更となり、出展予定だった団体が参加できな かった。	「第12回環境フォーラムぬまた」について 落語林家うん平師匠をお招きし、風船のマ ジックショーや風呂敷の活用方法の実演をは じめ、巧みな話術により会場は笑いの渦に包 まれた。笑うことは健康にも効果があり、環境 と健康講演会となり一挙両得であった。 群馬県環境アドバイザー会報に掲載されたこ とにより、「ぬまた環境ネット」の取組が県内 に広く紹介されたことは良かった。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡 大防止により、上半期の活動は困難である が、次年度の活動のあり方について、例えば フォーラム開催場所などについて、事務局・ 環境課と新しい方向性を検討したい。
						(改善点など) 公共交通の利用によるCO ₂ の削減を図るた め、生活課と連携し、会場敷地内において 「バスの乗り方教室」(来場者116人)を初めて 開催した。	(改善点など) 「環境フォーラムぬまた」に少しでも足を運 んでいただけるよう、上毛新聞や群馬県環境 情報サイトを通じ、事前の告知に努めた。そ の結果、他市町村や県外からの来場者も見 受けられた。また、市内全世帯に配布する 「ぬまた環境ネットだより」では、地球温暖化 を取り上げた。限られた紙面の中で、一般論 ではなく、親しみを持って読んでいただけるよ うに工夫し、沼田市における温暖化の影響や 気温の変化、熱中症搬送者数を掲載した。

17	環境課	環境啓発事業(ブナの幼木移植)	事業協力・協定	ぬまた環境ネット(利根沼田自然を愛する会)	玉原高原の再生のためケヤマハンノキ林にブナの幼木を移植する。	移植した幼木が根付き一定の成果は見られた。事業目的達成のため、長期的な視点に立って事業を継続することが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の参加がまだ不十分であるが、参加者の輪の広がりがあがる。 ・作業後の経年結果等を記録している。その結果を公表することにより、今後の事業発展・啓発効果を図れる。 <p>(改善点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の他に、県民にも広報で知らせる工夫をした。 ・メディアの取材もあった。
18	環境課	春・秋の市内一斉清掃	共催	沼田市環境保健協議会	道路愛護運動と同時に道路・河川・公園等の清掃作業を実施する。	一斉清掃・道路愛護運動を実施した結果、ポイ捨てごみを中心に、周辺環境の美化が図られた。不法投棄された廃棄物についても、春夏2回の見回りによる発見、清掃も同時に実施され地域環境の維持向上が図られた。また、多くの市民の参加が得られ、住民の環境美化に対する意識の向上が図られた。高齢化などにより、河川などの危険箇所の清掃が出来なくなった地域もあり、今後検討が必要である。	<p>(改善点など)</p> <p>いずれの町(支部)も熱心に一斉清掃・道路愛護に取り組んでいただいたと思う。今後もより多くの市民の方に参加していただけるよう、環境保健協議会の会議等において各町の支部長に協力をお願いしていきたい。なお、高齢化により危険箇所の清掃が困難となってきている場所もある。</p> <p>(改善点など)事業の継続、維持していくためにもたくさんの市民の方に参加していただくことが重要であり、環境保健協議会の支部長や役員への働きかけにより実施ができた。</p>
19	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル運動推進協議会外48団体	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施	令和元年度の集団回収事業登録団体は49団体、延べ263回実施され、紙・缶・びん等の再生可能な資源が約517t回収された。一昨年、4団体の減であったが、今年度は団体数の維持は出来たが、新規団体の加入は見られなかった。実施回数は増えたが、回収量は減ってしまった。今後も、新規団体に参加してもらえるよう、継続して周知を図っていきたい。	地域住民および関係者の方々に協力していただき、奨励金を運営費に充てることのできた。引き続き、集団回収事業を実施していきたい。
20	子ども課	親子ふれあい交流事業	事業協力・協定	沼田市母子会	ひとり親家庭の親子のレクリエーション等の実施	事業の中心となる母子会会員の減少により、事業運営に関わる人材の確保が難しくなっている。事業の実施方法等について検討しているものの、抜本的な改善には至らない状況である。	<p>(改善点など)</p> <p>企画の中心となる母子会会員の高齢化と会員数の減少が進んでいるなか、夏休み日帰り旅行の行き先を会員の意見を反映させて茨城県大洗方面に設定して実施した。参加者に喜んでもらえているので今後も続けていきたい。</p> <p>(改善点など)夏休み親子ふれあい旅行の行き先を母子会会員の意見を反映させた場所にしたところ、多くの参加があった。</p> <p>(改善点など)より多くの人に参加してもらうため、該当する家庭へ声かけを行った。また、参加者からの意見を事業内容に反映することができた。</p>

21	子ども課	沼田市子育て支援ネットワーク事業	事業協力・協定	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会	子育て支援団体等ネットワーク事業の実施	<p>子育て支援団体等のネットワーク構築により子育て家庭のニーズ把握が可能となり、ニーズの高い地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を開設し、支援を進めることができた。(地域子育て支援拠点事業＝市委託事業。ネットワーク推進協議会の参加団体である「NPO法人利根沼田地域ボランティアセンター」が受託。)令和元年度内の子ども広場のテラス沼田への移転拡充にあたっては連携して取り組むことができた。</p> <p>(改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようになってきている。平成28年度より意見交換の場に「子育てコンシェルジュ」が参加し、連携体制の強化が図られている。</p>	<p>沼田市子育て支援ネットワーク事業を受け、平成25年度から沼田市より地域子育て支援拠点事業を委託され(NPO法人利根沼田地域ボランティアセンターとして)、子ども広場で、常勤スタッフをおけるようになった。子ども広場のテラス沼田への移転により、利用者や相談件数も格段に増え、子育て支援の拠点として大きな役割を果たせるようになったと思う。沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会が事業を主導しているため、2～3か月に一度会議をし、順調に事業が進んでいる。</p> <p>(改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようになってきている。平成28年度より意見交換の場に「子育てコンシェルジュ」が参加し、連携体制の強化が図られている。</p>
22	子ども課	未来のライフデザイン啓発リーフレット作成事業	事業協力・協定	Hug Hapi(はぐはぴ)※沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会の参加団体	未来のライフデザイン啓発リーフレット「ハタチからの参考書」の作成	<p>沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会の参加団体であるHug Hapiの事業協力により、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された、思わず手に取って読みたくなるような啓発リーフレットが完成した。引き続き同団体との協働により、新たな視点を取り入れながら内容・デザイン等の見直しを行い、よりよいものを作成していきたい。</p> <p>(改善点など)昨年度に作成した冊子の内容を引き継ぎつつ、Hug Hapiのメンバーが新たに企画し取材した内容を加え、より魅力的な啓発リーフレットを作ることができた。</p>	<p>市との役割分担を明確にし、企画・編集についてはパートナーの裁量により作業を進めることができたため、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された、思わず手に取って読みたくなるような啓発リーフレットが完成した。引き続き市との協働により内容・デザイン等の見直しを行い、よりよいものを作成していきたい。さらに、子育て中の方などに声をかけてメンバーを増やしながら、リーフレット作成以外にも活動を広げていきたい。</p> <p>(改善点など)昨年度に作成した冊子の内容を引き継ぎつつ、Hug Hapiのメンバーが新たに企画し取材した内容を加え、より魅力的な啓発リーフレットを作ることができた。</p>
23	子ども課	ハッピープロジェクト事業	委託	ぬまたハッピープロジェクト運営委員会	地域における出会いの場づくり	<p>出会いを応援し沼田を元気にするネットワークとして平成28年8月に設立された「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」には、現在、青少年団体、子育て支援団体、農業団体など13団体が参加している。ネットワーク主催による、公共施設や観光資源を活用した地域性あふれるイベントを実施することができた。イベントなどの企画は、ネットワークによる企画会議において自由にアイデアを出しながら決定し、SNSなどを活用したPR活動や当日の運営も協働で実施した。今後も、様々な団体に声をかけをし、ネットワークの拡大を図りながら、より効果的な事業を推進していきたい。</p>	<p>出会いを応援し沼田を元気にするネットワーク「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」として、公共施設や観光資源を活用した地域性あふれるイベントを実施することができた。イベントなどの企画は、ネットワーク構成団体のアイデアをもとに比較的自由的な発想で決定し、事前準備は主に市が事務局として進め、広報活動や当日の運営は協働で実施するなど、効率的な役割分担ができていた。今後も、様々な団体に声をかけをし、ネットワークの拡大を図りながら、より効果的な事業を推進していきたい。</p>

						(改善点など)ネットワークの更なる推進を図り、結婚を希望しながら出会いの機会を得られない潜在的な未婚者をほりおこし、それぞれのニーズに合ったセミナーや交流イベントなど若い世代の出会いのきっかけづくりとなる事業を積極的に展開した。	(改善点など)ネットワークの更なる推進を図り、結婚を希望しながら出会いの機会を得られない潜在的な未婚者をほりおこし、それぞれのニーズに合ったセミナーや交流イベントなど若い世代の出会いのきっかけづくりとなる事業を積極的に展開した。
24	介護高齢課 (高齢福祉課)	市民敬老号事業	事業協力・協定	沼田市老人クラブ連合会	高齢者の親睦と社会見聞を広めるため、2泊3日の県外旅行を実施	沼田市老人クラブ連合会役員が担当課とともに高齢者向けの研修旅行先、内容等を検討し、募集においては、クラブの役員がチラシを配布する等により、高齢者に参加を促している。 毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間たちと親睦を深めながら社会見聞を広めることができ、事業の目的が十分果たしている状況である。	沼田市老人クラブ連合会役員が、担当課とともに、高齢者向けの研修旅行先、内容等を検討し、募集においては、クラブの役員がチラシ配付する等により、高齢者に参加を促している。 毎年参加を楽しみにしている高齢者も多く、大勢の仲間たちと親睦を深めながら社会見聞を広めることができ、事業の目的が十分果たしている状況である。
						(改善点など)今後も高齢者の安全性や利便性を最優先に考え、多くの方に参加していただけるよう、あらゆる視点から配慮したい。	(改善点など)今後も高齢者の安全性や利便性を最優先に考え、多くの方に参加していただけるよう、あらゆる視点から配慮したい。
25	介護高齢課 (高齢福祉課)	老人クラブ助成事業	補助・助成	沼田市老人クラブ連合会	単位老人クラブに1年間の活動費の助成として、補助金を交付している。	老人クラブは、地域の高齢者全体を視野に入れた健康づくりや介護予防活動、友愛訪問等の地域支え合い活動等に取り組んでおり、地域社会の重要な担い手として、なくてはならない存在である。 しかし、クラブ数、会員数とも減少しており、これに歯止めをかけていくことが今後の課題である。	クラブ数、会員数とも減少しており、これに歯止めをかけていくことが今後の課題である。
						(改善点など)クラブ数、会員数の減少に対し、一丸となって取り組む基本方針を総会で再確認した。各種提出書類作成が、各単位クラブ役員への負担にならないよう工夫した。	(改善点など)クラブ数、会員数の減少に対し、一丸となって取り組む基本方針を総会で再確認した。
26	健康課 (高齢福祉課)	高齢者筋力向上トレーニング事業	事業協力・協定	老人クラブ、ふれあいいいきサロン他	暮らしに役立つ筋力向上トレーニングを実施しながら仲間作りを行う。	団体数が増えたため、3名の担当保健師だけでは迅速かつ十分な対応ができない。今後は各団体が自主運営ができるよう支援していきたい。	新型コロナウイルス感染症対策のため、3密をさけて気をつけている。
						(改善点など)現在評価途中。	(改善点など)現在評価途中。

27	健康課	地区健康教室	共催	沼田市保健推進委員会	地域で健康教室を開催し、こころの健康及び生活習慣病予防等の正しい知識の普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板などでも周知しているが、顔の見える存在の保健推進員からの声かけが、参加者増には効果的である。また、地域のつながりも促すことができると考える。 ・ウォーキング教室では、保健推進員達でコースを検討し必要に応じて下見をして準備。身近なコースを歩くことで、地域の良さを再発見したり、ウォーキングの継続を促すことに繋がる。 ・健康情報過多な現状であることを踏まえ、最新情報を取り入れながらも正しい知識を提供できるように検討していく。 ・地区により、開催回数にばらつきあり。多くの地区で開催できるよう、働きかけが必要。 ・開催数は減少傾向。企画して良かったと思ってもらえる内容を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区健康教室を開催するにあたり、多くの人に参加してもらえるように、内容や日時・場所などを検討し、近所の人や友人などに声をかけた。 ・地区役員に連絡し、開催の趣旨を説明し会場を借用。また、出来るだけ参加してもらえるように声をかけている。 ・日頃より地域の行事に保健推進員として協力し、地域のネットワークを強化出来るように心がけている。 ・健康教室を開催できない場合も、講習会などで学んだ健康知識を地域の人々に伝えたり、スマートウェルネスぬまた推進員として協力し、健康づくりの輪を広げていく。
					(改善点など) ・未実施の地区に対する働きかけとして、第1回理事会時に各地区担当保健師が出席し、開催に向けての打ち合わせを実施。 参考:平成31年度開催回数 20回 参加者数(保健推進員含む)404人 (H30 21回 389人)	(改善点など) ・地区ウォーキング教室や健康教室を継続して開催し、多くの人に参加してもらえた。 参考:平成31年度開催回数 20回 参加者数(保健推進員含む)404人 (H30 21回 389人) ・スマートウェルネスぬまた推進員として、地域の人々に参加を呼びかけ、登録に繋がっている。	
28	産業振興課	沼田まつり	実行委員会・協議会	沼田まつり実行委員会	各部会を設置し、各種団体の協力を得て沼田まつりを開催する。	令和元年度の入込数は、25万人であった。	令和元年度の入込数は、25万人であった。
29	産業振興課	新規学卒就職者激励親睦のつどい	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区の事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。	令和元年度の参加者数は25事業所62名であった。	令和元年度の参加者数は25事業所62名であった。
30	産業振興課	利根沼田勤労者ソフトボール大会	共催	沼田地区労働教育委員会・沼田市ソフトボール協会(沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、ソフトボール大会を行う。	令和元年度の出場者数は12事業所13チーム230名であった。	令和元年度の出場者数は12事業所13チーム230名であった。
31	産業振興課	利根沼田勤労者卓球大会	共催	沼田地区労働教育委員会、利根沼田卓球協会(沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、卓球大会を行う。	令和元年度の出場者数は10事業所14チーム76名であった。	令和元年度の出場者数は10事業所14チーム76名であった。
32	産業振興課	新規学卒就職者研修会【開催中止】	共催	沼田地区労働教育委員会	新規就職者を対象に社会人の自覚を促し、勤労意欲の向上を図るために研修会を開催する。	令和2年3月24日開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	令和2年3月24日開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
33	産業振興課	児童木工工作大会	補助・助成	沼田木材組合	子ども達に木のぬくもりと有益性を認識してもらうため、木工工作大会を行う。	令和元年度は、2日間で54組の参加があり総勢151名であった。	令和元年度は、2日間で54組の参加があり総勢151名であった。

34	産業振興課	ニュー木工工作広場	補助・助成	利根沼田建築相互組合	地元産木材のPR及び住民交流等のために木工工作広場を開催する。	令和元年度は、総勢82名の参加があった。	令和元年度は、総勢82名の参加があった。
35	産業振興課	沼田市産業展示即売会【開催中止】	実行委員会・協議会	沼田地区地場産業振興協会	本市地場産品の総合展示・即売、各種催事の実施	令和元年10月12日～13日の開催に向けて、66事業者・団体の協力により準備を進めてきたが、台風19号の接近に伴い中止となった。	令和元年10月12日～13日の開催に向けて、66事業者・団体の協力により準備を進めてきたが、台風19号の接近に伴い中止となった。
36	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会 (利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流	・沼田市、利根沼田農業協同組合、沼田市農業委員会が共催となり、多くの農業関係者の協力を得て開催していることから、農業関係者間の交流を図るとともに、安心安全な農産物の提供を通して、来場される消費者との交流も図られている。 ・事業費の節減に努めるほか、提供品の有料化、出店料等についての検討が必要である。 (改善点など) ・経費節減の検討は引き続き行う必要がある。 ・参加者が減少傾向にあるため開催方法の検討が必要である。	農家と消費者の交流が図られ、農家の育てた安心・安全な農産物を直接消費者に販売し、地産・地消運動の実践ができ、農家への理解と信頼を深めることができた。 (改善点など) ・経費節減の検討は引き続き行う必要がある。 ・参加者が減少傾向にあるため開催方法の検討が必要である。
37	農林課	認定農業者協議会活動支援事業	補助・助成	沼田市認定農業者協議会	認定農業者協議会活動補助	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も240名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も240名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。
38	農林課	生活研究グループ活動支援事業	補助・助成	沼田市生活研究グループ	生活研究グループ活動費補助	各種イベントを通じて、地場産農産物を利用した料理や郷土料理などを試作・発表するとともに、食育についても率先して事業計画を練り、都市住民、地域住民、子どもたちの農産物の食への関心の高まりに効果をあげている。	各種イベントに参加することにより、世代間の交流や多くの参加者と触れあうことができた。
39	農林課	地域農政推進委員会支援事業	補助・助成	沼田ほか7地区地域農政推進委員会 (沼田地区事務局)	地域農政推進委員会補助	今後も、農業振興に対する意見聴取や情報交換等を行い、組織として情報を共有し検討していく必要がある。 (改善点など)事務局と連携を図り必要な活動の検討を行う。	今後も行政と一体となり、情報交換等により情報を共有しながら事業に取り組む必要がある。 (改善点など)市と連携を図り必要な活動の検討を行う。
40	農林課	森林づくりボランティア推進事業	事業協力・協定	ボランティア希望者 (森林づくりボランティア事務局)	ボランティア登録者による森林整備	近年は、環境問題への関心の高まりとともに、ボランティア活動を行う機会も増えてきている。そのような状況下で有意義な森林整備ができた。 参加者は、高校生から林業事業者まで技術に大きな差があるため、同一の作業を行うことが難しく、作業に適した森林を選定することが困難な状況である。	今回は参加できたが、今後も無理のないように参加したい。

41	農林課	みどりの小径整備事業	事業協力・協定	地元住民 (高橋場町商工会)	地元主体の遊歩道の維持管理	地元要望に基づき整備し、地元において維持管理することで事業を実施してきた。本年度も協定に基づいて協働事業を行うことにより、適切な管理が図られた。	協定書に基づき協働事業を行うことにより、みどりの小径の適切な管理が図られた。
42	観光交流課	交流居住促進事業	実行委員会・協議会	沼田市交流居住促進協議会	都市部との交流事業の促進・移住希望者等受け入れの環境整備	都市間交流事業については、防災や環境に関する協定を締結している新宿区や板橋区、港区などとの交流を継続し、一定の成果を上げている。 移住・定住についても県など主催の相談会に積極的に参加し、相談件数、移住者数ともに増加傾向にある。	新宿区や板橋区、港区などとの交流を継続することによって、沼田市の魅力や物産品のPRを行うことができた。 移住・定住についても物件紹介や受け入れ体制強化を図りたい。
						(改善点など)今後も引き続き組織や事業の見直し、検討を行い、成果を上げていきたい。	(改善点など)今後も引き続き組織や事業の見直し、検討を行い、成果を上げていきたい。
43	観光交流課	観光ボランティアガイド	事業協力・協定	沼田市観光協会	観光ボランティアガイドによる観光宣伝	真田関連や続100名城登録、御城印ブームなどをきっかけに来訪する観光客に対して、沼田の歴史や文化をアピールすることができた。	真田関連や続100名城登録、御城印ブームなどをきっかけに来訪する観光客に対して、沼田の歴史や文化をアピールすることができた。
44	観光交流課	沼田市観光協会事業	補助・助成	沼田市観光協会	観光農園、飲食店等の紹介や、キャンペーンの実施	本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体とも情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図る。	本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体とも情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図る。
						(改善点など)4城連携(上田城・沼田城・名胡桃城・岩櫃城)事業に取り組んだことにより、周遊されるお客様が増えた。	(改善点など)4城連携(上田市・沼田城・名胡桃城・岩櫃城)事業に取り組んだ事により、周遊されるお客様が増えた。
45	観光交流課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会・協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会 (株)白沢振興公社)	秋の味覚のPRと、消費者に感謝の気持ちを込めて特価販売を行う。	秋の行楽シーズンに開催し、盛況であった。出展協力者のテント販売も盛況で、イベントとしては成功であったと思う。	市と協力することで幅広い情報の発信(地元紙や地元FM局などの協力を得られた)が出来、多くのお客様に同イベントを楽しんでいただくことが出来た。対外への告知は十分に行っているが、今後はさらに情報発信を強化し、イベントに参加する生産者を含め出荷物の総量を上げて行くことも課題としたい。
46	観光交流課	白沢高原りんご&ぶどう祭り	実行委員会・協議会	白沢高原りんご&ぶどう祭り実行委員会 (白沢りんご研究会)	秋の味覚のPRと、お客様参加型イベントによる交流。	天候にも恵まれ、多くの参加者を迎えることができ、運営がスムーズに出来た。出演を依頼した上州真田武将隊が呼び込みをしてくれたため、無事イベントを終えることができた。	開会行事も含めて進行がスムーズに出来た。 イベントも大変好評だった。
						(改善点など)屋外のイベントで天候に左右されるため、荒天時の対応を予め決めておいた。	(改善点など)イベント内容を工夫し、集客が図れた。

47	都市計画課	公園管理事業	事業協力・協定	薄根町区外10団体	公園の維持管理を地元住民との協定により実施し、利活用を図る。	公園運営委員等の高齢化が進み世代交代が急務な団体も存在する。 (改善点など)平成29年度から日報提出を依頼し、実績の明確化を図っている。	地域で公園の企画運営をする事で、利用団体や利用時間等を適切に把握し、効率的な公園管理が図れた。 (改善点など)平成29年度より実績に基づいた作業日報を提出している。
48	都市計画課	市民緑化推進事業	補助・助成	生枝愛花会外18団体	緑化推進事業に対する補助金の交付	広報等を通じ広く市民に周知しており、緑と花のあるまちづくり事業については、毎年多くの参加団体があるが、生け垣奨励事業は民間建築状況により左右されるため、年度毎の申請件数に差異が生じてしまう。(R1年度申請:2件)また、壁面等緑化奨励事業については、対象地域が限定されているため、ほとんど申請が無い状況である。	道路沿線等を緑化することにより、生活環境の向上が図られた。
49	都市計画課 (街なか対策課)	中心市街地活性化の会補助事業	補助・助成	沼田市中心市街地活性化の会	中心市街地の活性化を目指し、よりよいまちづくり実現に向けた事業への補助金交付	昨年度に引き続き、中心市街地活性化の基盤となるハード事業(土地区画整理事業)が徐々に進捗してきており、来年度には2街区の文化財(旧土岐家住宅洋館/旧日本基督教団沼田協会記念会堂)の移築が完了する。今後は文化財の利活用も含めた中心市街地活性化のためのソフト施策等を協働パートナーと考え、実行していきたい。ほか、協働パートナー以外の関係者もさらに取り込み、市民全体の課題として取り組んでいけたらと考える。	区画整理事業をベースにしているため、権利調整に時間がかかる。先行きが不透明のため会員に脱力感を感じられている方が多くなっていたが3街区上之町部分の仮換地指定がされ、区画整理事業の進展がみられる。にぎわいの核の旧土岐邸の移築が終わり、旧沼田教会記念会堂の移築も始まり、秋の完成を目指している。1街区の電柱埋設工事も進み、歩道が広がり市民にまちづくりのハード部分が提示できる。まちづくりは永遠に続けるので、活性化は今行えること、実験してみることで、区画整理後の目標とを合わせて行う難しさがある。 (改善点など)まちづくりを進める上でハードとソフトは一体であり、ハードの区画整理の推進とソフト事業の出来るところから進めながら実績を上げていく。一部専門家を国より派遣していただき、ハード・ソフトの両面を指導していただき個人の単なる再建でなく、街が必要としているものを今後まちづくり事業として導入して、市民から支持されるまちにしたい。
50	生涯学習課	沼田市文化祭開催事業	委託	沼田市文化協会	市民の作品展示・舞台発表などにより、芸術文化の普及発展、意欲向上を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
51	生涯学習課	青少年健全育成推進モデル地区開催委託事業	委託	沼田地区青少年育成連絡協議会	沼田地区上毛かるた大会の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
52	生涯学習課	市民体力づくり歩け歩け運動大会委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	市民の体力向上と青少年の健全育成のための歩け歩け運動大会の実施	令和元年度に第50回大会を開催して事業終了。	令和元年度に第50回大会を開催して事業終了。

53	生涯学習課	子ども会ボランティア活動開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	子ども会を単位とした清掃活動等のボランティア活動の実施	特記事項はなし	地域を見つめ直し、ボランティア精神を養う、家庭教育支援として有効である。
54	生涯学習課	青少年指導者会研修委託事業	委託	沼田市青少年指導者会	青少年健全育成を支援する青少年指導者会の研修会の実施	特記事項はなし (改善点など)人数は少ないが、入会者はいる。	研修会の実施により、青少年健全育成事業等への支援がスムーズに行えた。 (改善点など)人数は少ないが、入会者はいる。
55	生涯学習課	青少年育成大会開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年育成大会及び研修会の実施	インターネットやSNSについての対策が、必要となっている。	インターネットやSNSについての対策が、必要となっている。
56	生涯学習課	子ども会行事開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	かるた大会の開催により子ども会活動の活性化と会員相互の親睦を図る。 (改善点など)沼田かるたが改訂された。	特記事項はなし。 特記事項はなし。	特記事項はなし。 特記事項はなし。
57	生涯学習課	沼田市成人式開催委託事業	委託	沼田市成人式実行委員会	成人を祝う式典の開催	特記事項はなし。	特記事項はなし。
58	生涯学習課	青少年自然体験活動推進事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	集団生活に耐えられる意志・体力を養うための野外体験活動の実施	少子化等に伴い、参加者の減少が懸念される。	ジュニア・リーダー(高校生指導者)の減少が懸念される。
59	生涯学習課 (中央公民館)	市民ハイキング	事業協力・協定	沼田山岳会	参加者を募集し、栃木県日光戦場ヶ原の湯滝から、赤沼を経由し、竜頭の滝までのハイキングを実施する。	年1回、事業を実施しているが、参加者も高齢になりつつあるため市民のニーズに応えるコース選定と安全の確保は、変わらぬ課題である。	年1回、事業を実施しているが、参加者も高齢になりつつある。市民のニーズに応えるコース選定と安全確保の両立が、常に課題である。
60	生涯学習課 (利南公民館)	利南公民館まつり	共催	利南女性学級有志、利南地区老人クラブ連合会	作品の出展、参加をとおして地区民の親睦と個々の資質の向上を図り、連帯感を深め、地域の発展に寄与する。	・地区住民や公民館教養教室受講者及び公民館を利用している自主サークル等の活動成果の発表と交流の場となっており、今後も毎年開催し、公民館活動への理解と地区民相互の親睦を図っていききたい。 ・作品の出展数が減少傾向にあるが、協働のパートナーと共に開催内容の見直しや工夫等を行い、より親しまれる公民館まつりを目指したい。 ・協働パートナーが4団体から2団体へと減少してしまいましたが、利南女性学級有志のみなさんが減少した団体が担っていた部分をカバーしてくれたため、今年度も引き続き「みそおでんコーナー」と「バザーや湯茶等の接待」を行うことができ、来館者に好評いただいた。 ・昨年度に引き続き今年度もスタンプラリーを開催し、アンケートでも子ども連れの来館者に大変好評だったので、今後も継続して実施していきたい。	・公民館まつりに前年度まで協力してくれた利南民生児童委員協議会が委員の改選により多くの委員が交代となったことから、今年度は協働のパートナーになることを辞退されたため、公民館長より「みそおでんコーナー」についても私たち利南女性学級にお願いできないか協力依頼があった。みんなで話し合った結果、前年度も実施した「バザーや湯茶等の接待」のほか「みそおでんコーナー」についても利南女性学級有志で協力し合って実施し、公民館まつりを盛り上げることができ良かった。来場者アンケートでも大変好評であった。私たち以外の協働パートナーである利南老人クラブや利南公民館と協力して楽しく活動でき、多くの出展された作品もすばらしく、来場者を含め参加したみんなの力で地域の和を深めることができたと思う。

61	生涯学習課 (池田公民館)	池田高齢者教室	実行委員会・ 協議会	池田地区老人クラ ブ連合会	池田地区在住の高齢者を対象とした 講座等の開催	高齢者の社会参加を促し、健康づくりと生き がい創造活動を担う場として機能している。 高齢者が変化の激しい現在社会に適應でき るよう、お互いが知恵を出し合い潤いのある 活動を行って行けるよう引き続き取り組んで 行きたい。	参加者は幅広い教養を身に付け、意識の改 革が図れた。 各種の取り組みは豊かな老後生活の基礎と なるものであった。 今後も主体的に学び、行動する姿勢を創り出 しながら、積極的に参加できる雰囲気づくりを 市(公民館職員)と情報交換や協力を行い取 り組んでいきたい。
62	生涯学習課 (池田公民館)	池田地区文化祭	共催	池田地区振興協議 会	文化祭の開催(短歌・俳句・書道・絵 画・水墨画・手工芸・陶芸・切り絵・押 し絵・押し花・生け花・彫刻・写真・盆 裁等、文化作品の展示)	市民参画による文化芸能の振興及び生きが いづくりの向上が図られた。 今後の課題は、参加者層の減少と偏りであ る。高齢者が多く、青少年(若年)層の文化芸 術活動への参加が少ない傾向にある。 ポスターやチラシなどを工夫し、さらに広く住 民に周知していくとともに、事業の充実を図 ることが必要である。	小学生から高齢者まで多くの作品が 出展され、成果は得られたと思われる。また、作品 を出展することにより、地域住民の生涯学習 の意欲の向上が図られている。
63	生涯学習課 (薄根公民館)	薄根公民館生涯学 習『薄根高齢者教 室』	実行委員会・ 協議会	薄根地区老人クラ ブ連合会	薄根地区在住の高齢者を対象とした 講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更 に多くの高齢者に参加していただけるような魅 力ある講座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更 に多くの高齢者に参加していただけるような魅 力ある講座内容の検討を行いたい。
64	生涯学習課 (薄根公民館)	薄根公民館生涯学 習『薄根女性学級 』	実行委員会・ 協議会	沼田市薄根婦人会	薄根地区在住の女性を対象とした講 座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更 に多くの女性が受講したくなるような魅力ある講 座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更 に多くの女性が受講したくなるような魅力ある講 座内容の検討を行いたい。
65	生涯学習課 (薄根公民館)	薄根公民館まつり	共催	薄根地区振興協議 会 他	公民館まつりの開催	園児から高齢者まで多くの作品が 出展され、盛大に開催されており、一定の成果は得られ たと思われる。今回もパートナーから来館者 に豚汁等の配布を行いたいとの要望があり、 実施したところ地区住民の交流が図られ好評 であった。	園児から高齢者まで多くの作品が 出展され、盛大に開催されており、一定の成果は得られ たと思われる。平成30年度に来館者への豚 汁等配布を提案し実施したところ、好評で あったことから、今回も地区住民の交流を図 ることを目的に豚汁等配布を実施した。
66	生涯学習課 (川田公民館)	川田地区民展	実行委員会・ 協議会	川田地区振興協議 会、川田地区青少 年育成連絡協議会 ほか	川田地区民が制作した作品展示と表 彰式の開催	地区民や教養教室生から多数の作品が 出品され、相互の親睦が図られた。保育園児、 小・中学生の作品については、審査と表彰を 行うことで子どもたちの創作意欲の向上が図 られ、成果を上げている。 人口減少の中、今後も地区民展を継続して いくために、今の組織形態に見合った規模とな るよう、協議・見直しを実施し、結果として開 催期間を3日間から2日間に短縮、表彰につ いては市長・議長の表彰を取りやめ、入選件 数を削減した。	JA協賛イベント、フラワーアレンジメント体験 教室、ボランティアによる接待など、多大な協 力をいただき盛大に開催することができた。

67	生涯学習課 (川田公民館)	エコ・プロジェクトin かわだ	共催	利根実業高等学 校、川田保育園、 川田簡易郵便局	緑のカーテンづくり	ゴーヤの植え付け作業を通じて、保育園児と 利根実生のふれあい・交流が図られた。複数 の施設で実施したことにより、事業の趣旨を 広く周知することができた。 なお利根実業高校より、実施時間の再検討 などが提案された。	ゴーヤの植え付け作業を通じて、保育園児が 利根実生とふれあうことができた。植物の栽 培体験や、ゴーヤのおやつを試食により食育 を行うことができた。
68	生涯学習課 (白沢公民館)	白沢町高齢者教室	事業協力・協 定	白沢町燦々会	白沢町在住の60歳以上の高齢者を 対象とした講座の開催	運営委員会において活動内容を検討。意見 や要望を取り入れて教室に反映させることが できた。 運営委員による学習会の周知等により、参加 者も多く、事業効果を高めている。 参加者も高齢化しており、今後も講座内容等 含め検討が必要であると思う。	運営委員会において活動内容を検討。意見 や要望を取り入れて教室に反映させることが できた。 運営委員による学習会の周知等により、参加 者も多く、事業効果を高めている。 参加者も高齢化しており、今後も講座内容等 含め検討が必要であると思う。
69	生涯学習課 (白沢公民館)	白沢町文化祭	共催	沼田市文化協会白 沢支部	文化祭の開催(計画立案含む)。	継続的に出品している参加者も多く、町民の 文化も向上し一定の効果が得られたと思う。 地域に根付いた事業があることから、今後も 継続していくことが望ましい。 多くの方に参加していただけるよう今年度、 パートナーと相談し、子ども向けのパンづくり や折り紙教室を開催し好評であった。多くの 方に参加していただけるよう周知していきたい。	継続的に出品している参加者も多く、町民の 文化も向上し一定の効果が得られたと思う。 地域に根付いた事業があることから、今後も 継続していくことが望ましい。 今年度、結いんぐによるウインナーパン作り などを取り入れた子ども向けスタンプラリー を開催し好評であった。多くの方に参加して いただけるよう継続していきたい。
70	生涯学習課 (図書館)	おはなしポケット	事業協力・協 定	沼田読み聞かせの 会	子どもを対象にした読み聞かせ	参加者も多く、子どもの読書活動の推進が図 られている。	子どもの読書活動の推進と図書館利用の促 進が図られている。安定した子ども達の参加 があり、大変好評である。
71	生涯学習課 (図書館)	ブックスタート	事業協力・協 定	沼田読み聞かせの 会	赤ちゃんと保護者のふれあいを絵本 を介して応援する	平成18年からスタートしたブックスタートは、 10年以上経過し、2人目、3人目というお母さ んも多くなった。ブックスタート機会に読み聞 かせを続けているお母さんの声から事業成 果を実感できている。	赤ちゃんに会えるのがとてもうれしく、絵本を 読んであげたときの赤ちゃんのかわいい反応 をお母さんと一緒に楽しく体験しています。 ブックスタートを通して、地域に子育てを応援 する人がたくさんいることを知ってもらったり、 赤ちゃんが参加できるさまざまな活動に出 会ったりすることで、保護者が安心して子育 てができるきっかけになると良いと思います。 参加したお母さん方に大変好評です。

72	文化財保護課	茶会開催業務	委託	沼田茶道会	旧生方家住宅において桜の開花時期にお花見添え釜を開催	<p>本年の会場は、これまで使用してきた旧土岐邸洋館が沼田公園から移築されたことから重要文化財旧生方家住宅に変更となった。開催日がまだ寒かったことから、来場者が伸びず、また建物の構造上屋外に近い環境のため、茶道会関係者にもご苦労をかけた。ただ、文化財利活用事業としての趣旨は理解していただいているので、今後引き続き事業を継続するかどうか検討したい。</p> <p>(改善点など) 本年の会場は、重要文化財旧生方家住宅としたが、沼田茶道会には積極的に工夫して取り組んでいただいた。</p>	<p>今年から茶席会場が生方家となり、さくら祭りの会場としては初めてとなりました。時期を見極めるのは大変難しい事だと思います。本年は4月6日、7日、8日と開催しましたが気温が低く、また、生方家は戸が開放されたままです。お客様に寒い思いをさせてしまったようです。特に8日の報告では、50名と少ない入席者数でした。それでもお出で頂いたお客様には、温かいお茶を、コートを着たままどうぞ、等配慮はさせて頂きました。年々、状況は違うと思いますので、来春もしっかり担当させて頂きますので宜しくお願い致します。水屋として使用する奥の間ですが、照度が低く、お願いではありますが、少し上げていただければ幸いです。</p>
----	--------	--------	----	-------	----------------------------	--	---